



札幌市シックハウス対策

子 ど も

ガ イ ド

ラ イ ン

パンフレット





目次



はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	1
シックハウス症候群とは・・・・・・・・	2
揮発性有機化合物等が含まれているもの・・・・・・・・	3
子どもの視点に立って気をつけること・・・・・・・・	4
予防・・・・・・・・・・・・・・・・	6
物品を購入するときは・・・・・・・・	8
工事をするときには・・・・・・・・	9
室内濃度測定を行いましょう・・・・・・・・	10
起きてしまったら！ ～指針値を超えた場合・・・・・・・・	12
札幌市が行うこと・・・・・・・・	12
参考資料・・・・・・・・	14



はじめに



平成 22 年 (2010 年) 3 月、
札幌市にある児童会館の床材張替工
事の際に、厚生労働省が定める指針値を
大幅に上回る化学物質 (トルエン) が検出さ
れ、その影響で、施設利用者の体調不良を引
き起こしました。このことを深く反省し、二
度とこのような事態が起こらないよう「札
幌市シックハウス対策 子どもガイド
ライン」を策定しました。



子どもたちやその保
護者が安心して施設を利用
できるよう、このガイドラ
インをもとに、札幌市はシック
ハウス対策をしっかりと
行っていきます。



子どもが利用する民間
の施設においても、このガ
イドラインを参考に各施設の状
況にあったシックハウス対策に
取り組んでいただきますよう
お願いいたします。



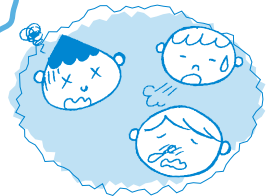
『子どもの安全・安心』
を第一に考え、子どもたちやそ
の保護者が安心して施設等を利用で
きるように、施設管理者や施設職員
等は、子どもの行動特性等を十分に
踏まえ、日常的にシックハウス
対策を意識し行動してい
きましょう。



シックハウス症候群とは



建材や内装材、家具類や家庭用品などに含まれる揮発性有機化合物等が室内に徐々に放散すること起因する健康不良のことです。



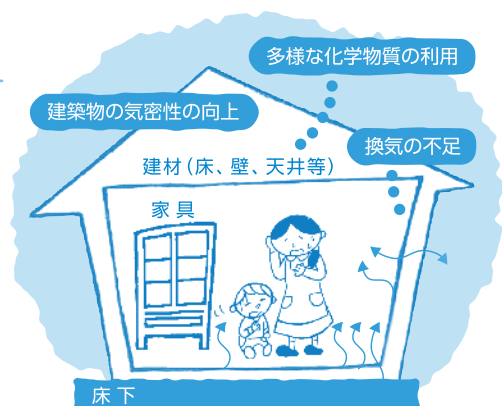
1 症状

頭痛、頭が重い、めまい、眼の痛み、眼がチカチカする、鼻がむずむずする・ツーンとする、くしゃみ、鼻水、じんましん、喉の痛み・渴き・イガイガ、咳、たん、気分が悪い、吐き気、疲労感、倦怠感 など、さまざまです。

- 人によってさまざまな症状を示し、非常に個人差があるのが特徴です。
- 症状の出る人と出ない人がいます。
- 疲労や軽度な風邪等と似たような症状で、区別が難しい場合があります。
- 建物にいないときには、症状が出ないことが多いです。

2 原因

近年、住宅の気密性が向上したこと、また、建材や内装材、家具類や家庭用品にホルムアルデヒド等のさまざまな揮発性有機化合物等が使われ、室内に放散したまま抜けず、濃度が高くなったためと考えられていますが、揮発性有機化合物等と健康被害との因果関係は未解明な部分が多いといわれています。

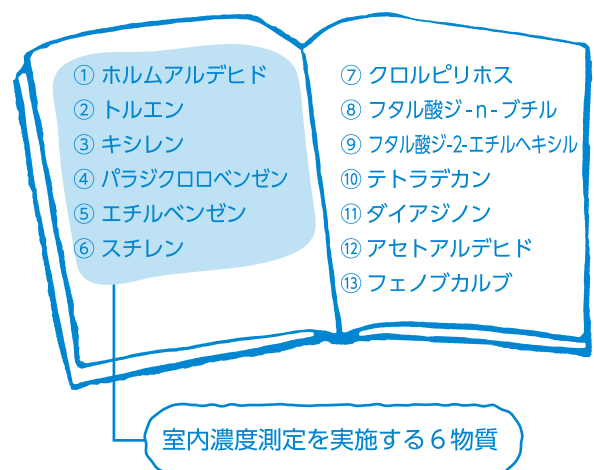


3 対象とする揮発性有機化合物等

揮発性有機化合物等とは、常温で揮発しやすい有機化合物の総称で、数百種類あるといわれています。

厚生労働省では、13物質について室内濃度指針値を定めており(14ページ参照)、このうち、特に建材等で使用されている可能性の高い6物質については、文部科学省の学校環境衛生基準(平成21年度)等により、定期検査や新築・改築時に室内濃度測定を実施するよう定められています。

このことから、本ガイドラインで対象とする揮発性有機化合物等は、右図の13物質(以下「13物質」という)とし、そのうち①～⑥は室内濃度測定を実施する物質(以下「6物質」という)とします。



揮発性有機化合物等が含まれているもの



建物の新築や改築、修繕等に使用される材料などのほか、机やいすなどの備品、床ワックスや芳香剤などの日用品、おもちゃや教材など、子どもの身の回りの物にも含まれている場合があります。

① 備品等

木工製品 スチール製のメラミン樹脂等の化粧板仕上げ製品 机 いす・ソファ（骨組みが木製合板のものを含む） パソコン 棚 収納用什器 パーテーション コートハンガー ロッカー 傘立て 掲示板 ホワイトボード ベッドフレーム 木製の家具 など



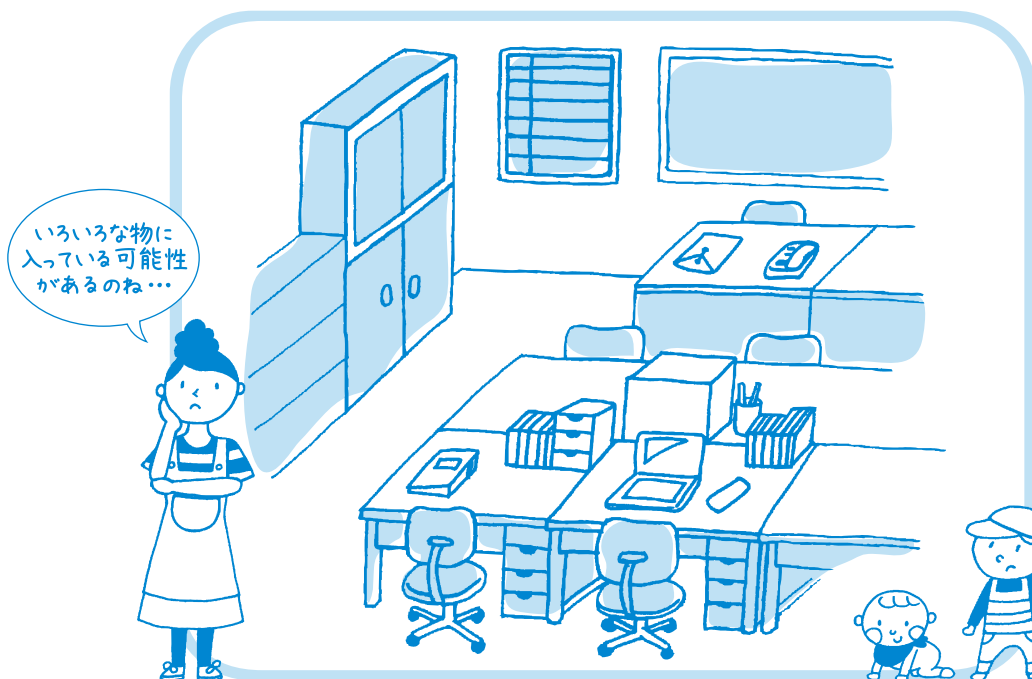
② 家庭用品・日用品等

防虫剤 防蟻剤 防腐剤 トイレの芳香剤や消臭剤などの薬剤 塗装用シンナー ペンキ 床ワックス 印刷用インク 接着剤 マニキュア等化粧品 発泡スチロール 油性マーカー 塗料の溶剤 ゴム 灯油 など



③ その他

フローリング 建具 家具 構造材 壁紙接着剤 断熱材 スチレンボード スチロール畳 ビニールクロス クッションフロア 喫煙 など



子どもの視点に立って気をつけること

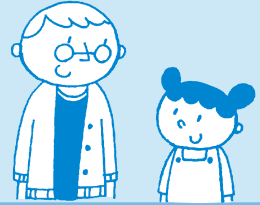


1 子どもの特性

子どもは、身体や脳が作られる発達時期にあることから、揮発性有機化合物等が、子どもに与える影響は、大人よりも大きいと考えられています。

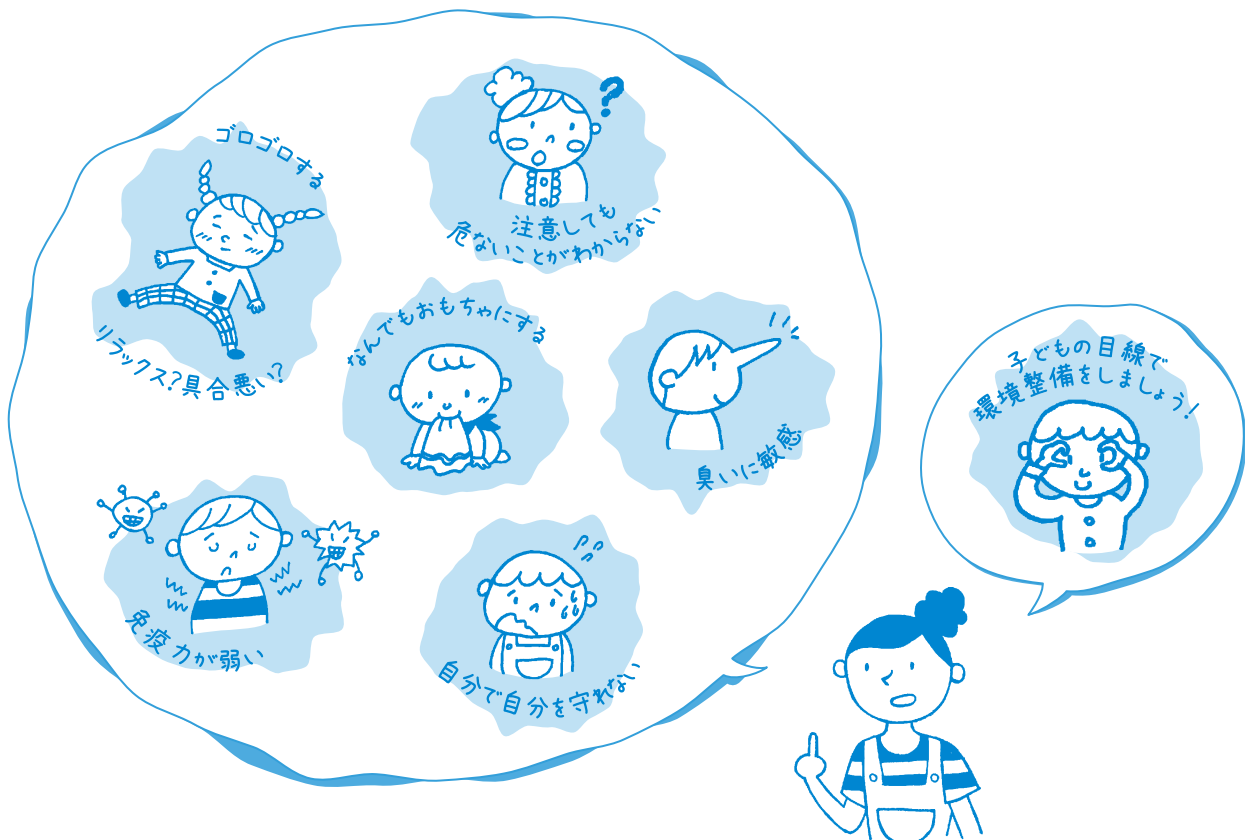
(1) 身体的機能の特性

- ・子どもの身体は発達段階にあり、機能が未成熟です。
- ・子どもの体重当たりの呼吸量は、大人よりも多いです。
- ・子どもは、身長が低く、大人とは違った目線で生活しています。



(2) 行動の特性

- ・子どもは、好奇心が強く、危険の程度を判断したり、それを回避したりする社会経験に乏しいことから、大人とは異なるさまざまな行動パターンを示します。
- ・子どもは、地面や床近くでよく遊びます。
- ・乳幼児は、よく口に物を入れます。
- ・子どもは、興味のあるものに触れたがります。

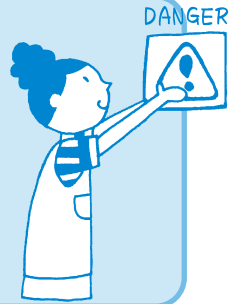


② 子どもへの配慮

日頃から子どもの状態や様子を観察して、個々の特性や体調の変化など微妙な変化、サインを見逃さないようにしましょう。

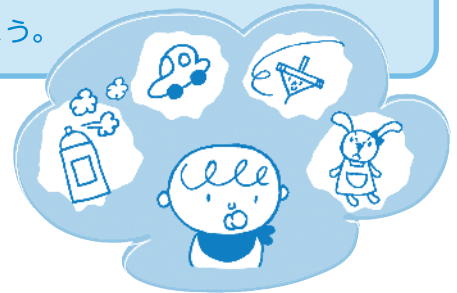
(1) 室内を点検しましょう。

- ・危険なものは、保管庫などの子どもの手の届かないところや目につかないところに置きましょう。
- ・休日後の部屋は、室内の揮発性有機化合物等の濃度が高くなっていることがあるため、使用開始前には、十分換気をしましょう。
- ・子どもが利用する時間帯を考え、その部屋に適した管理方法を決めましょう。



(2) 身の回りの物を考えましょう。

- ・家庭用品やおもちゃを購入等する際は、含まれている成分などを調べ、安全な物を選ぶようにしましょう。
- ・シンナーなど、使用に当たって注意が必要なものは、事前に使用すべきかどうかの検討をしましょう。また、使用する場合は、子どもが吸い込んだり、持ち物等に付着させないなど、工夫をしましょう。
- ・片付ける、立ち入らせないなど、子どもを危険から遠ざけましょう。



こんなこと
にもちゅうい!

香りのエチケット

香りの感じ方は人それぞれです。洋服についた柔軟剤や香水の香りは、自分にとって心地よくても「せきが止まらない」「頭痛や吐き気がする」など体調が悪くなる方もいます。配慮しましょう。

MEMO

予 防



① 13物質が含まれない製品を、できるだけ選びましょう

購入・使用する物は、できるだけ 13 物質が含まれないものを選びましょう。

やむを得ず含まれるものを使用する場合は、発散量の少ないものを選ぶよう、留意しましょう。

13物質

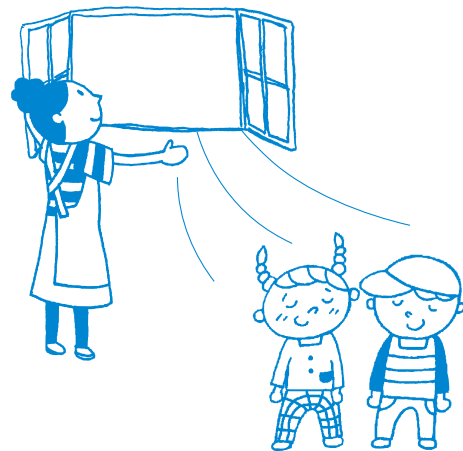


② 換気をしましょう

室内の空気汚染を防ぐために、すぐにできる対策は「換気」です。部屋の用途や使用状況によって、室内濃度は変化します。子どもの利用時間を考慮しながら、部屋ごとに適した換気をし、上手に空気の入替をしましょう。

施設管理者は、各部屋の換気がどのように行われているかを正しく把握しましょう。

- (1) 窓等を2箇所以上開放する。
- (2) 換気扇や扇風機を使用する。
※反対側の窓等を開けるとより効果的です。
- (3) 換気口なども有効に利用する。
※家具などでふさがないように気をつけましょう。



ふゆのかんき

札幌の冬は、窓を閉め切ったり、ストーブをつけたりするため、換気不足になります。1時間に5分程度の窓開け換気を心掛けましょう。室内の温度が下がりますが、乾燥しているため温まりやすく、比較的早く元の室温に戻ります。



③ 室内濃度測定を行いましょ

備品の購入等や工事の際に、6物質が含まれている場合には、室内濃度測定を行い、指針値以下であることを確認しましょう。

4 日頃から意識啓発をしましょう

(1) 施設職員の共通認識

職員会議や勉強会などで、シックハウスやその影響、日常の活動の中で気をつけることなど、基本知識や問題意識を持つための機会を設け、日頃から意識するよう共通認識を図りましょう。

(2) 子どもへの注意喚起

子どもに対しては、発達段階に応じて正しい知識や情報を可能な限り伝え、被害に遭わないよう注意を促しましょう。



(3) 保護者への啓発

保護者会やおたより等で、シックハウス問題や施設の状況・取組などを紹介し、理解を深めてもらいましょう。

また、工事を行う際には、忘れずに情報提供を行いましょう。



(4) 業者への協力依頼

備品・日用品の販売業者や工事施工業者に、シックハウス対策についての理解と協力を求めましょう。



しせつの
とりくみ

市内の施設では、このような取組をされているところがあります。

- * 13物質が含まれているものはできるだけ使用しないことにしています。
- * 工事をするときには、掲示板に表示するなど、目に見える情報提供をしています。
- * 部屋を密閉しないよう気をつけています。
- * 消臭剤などの日用品や子どもが使用するおもちゃなどに注意を払っています。
- * 換気が難しい部屋もありますが、子どもが来る前には必ず換気をします。
- * 換気、湿度、温度、ほこりに気をつけています。
- * 安全を重視して物を買うようにしています。



✳ 「13物質」、[6物質]については、2ページをご参照ください。✳

物品を購入するときは



- その物品が本当に必要か再確認しましょう。
- 購入物に13物質が含まれていないことを確認しましょう。
- 購入したら、換気をしましょう。

1 備品等を購入するとき

揮発性有機化合物等を含まないこと又は使用されていないことを確認しましょう。
含まれていない備品等が購入できない場合は、できるだけ発散量が少ないものを選定しましょう。

(1) 確認方法

- ア 「安全データシート(SDS)」「揮発性有機化合物(VOC)測定試験報告書」**
メーカーや購入先、取り扱っている業者等から提出してもらいます。
なお、「F☆☆☆☆(エフフォースター)」とは、ホルムアルデヒドの揮発量を抑えている建材等の等級ですので、他の揮発性有機化合物等については別途確認が必要です。
- イ 製品の表示**
製品によっては、説明書が添付されていたり、製品そのものに表示がされていたりする場合があります。
なお、使用上の注意などは良く読み、正しく使用しましょう。
- ウ お客様相談室等の活用**
メーカーのインターネットサイトで公表している場合があります。また、お客様相談室などに直接問い合わせをしてみることも有効です。

特に木製の家具は引き出し等を解放した状態に!

(2) 購入後

備品等が搬入された初期の段階で、できるだけ長時間、その居室等の窓を開け、十分に換気を行いましょ。



2 家庭用品、日用品等を購入するとき

日頃、なにげなく使っている接着剤や油性マーカーにも揮発性有機化合物等が含まれている場合がありますので気をつけましょ。

特に、ワックスは、トルエン、キシレンなどの揮発性有機化合物等が含まれている場合が多いことから、ワックスを選ぶ際には、安全データシート(SDS)等を製造業者から取り寄せるなど、13物質が含まれていないことを確認ましょ。

芳香剤等については、本当に必要かどうかを判断し、購入時には安全性を確認ましょ。

こんなことにもちゅうい!

- ★ワックス塗布… 原則子どもたちのいない長期休業中に行い、塗布後は十分に換気ましょ。
- ★薬剤散布… 屋外であっても、できるだけ散布しない工夫をましょ。
散布する場合は、事前に子どもたちや保護者等にお知らせましょ。
散布場所に子どもたちが近づかないよう囲いなどをましょ。